



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月9日

上場会社名 日東紡 上場取引所 東  
 コード番号 3110 URL https://www.nittobo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 多田 弘行  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役 (氏名) 梶川 浩希 (TEL) 03-4582-5040  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けオンライン会議)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	93,253	6.5	8,387	71.9	9,752	60.7	7,296	163.1
2023年3月期	87,529	4.1	4,880	△32.9	6,067	△24.8	2,772	△57.5

(注) 包括利益 2024年3月期 16,810百万円(206.9%) 2023年3月期 5,476百万円(△38.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	200.39	—	6.6	4.9	9.0
2023年3月期	73.94	—	2.6	3.3	5.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	212,112	123,707	55.7	3,246.26
2023年3月期	185,585	108,948	55.9	2,850.72

(参考) 自己資本 2024年3月期 118,191百万円 2023年3月期 103,793百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	5,057	△7,896	4,301	23,517
2023年3月期	7,643	1,979	△7,249	21,460

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	22.50	—	32.50	55.00	2,038	74.4	2.0
2024年3月期	—	22.50	—	32.50	55.00	2,012	27.4	1.8
2025年3月期(予想)	—	27.50	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 22円50銭 記念配当 10円00銭

2. 2025年3月期の期末配当予想については未定であります。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	17.0	5,800	86.0	5,500	31.3	4,000	13.7	109.86
通期	104,000	11.5	12,500	49.0	12,000	23.0	8,500	16.5	233.46

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	37,723,012株	2023年3月期	37,723,012株
2024年3月期	1,314,573株	2023年3月期	1,313,357株
2024年3月期	36,409,143株	2023年3月期	37,502,573株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	50,282	15.1	1,773	—	5,461	64.5	4,874	△32.4
2023年3月期	43,667	△2.0	△207	—	3,320	△11.9	7,213	78.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	133.88		—					
2023年3月期	192.36		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	150,299	82,999	55.2	2,279.67
2023年3月期	128,556	73,907	57.5	2,029.88

(参考) 自己資本 2024年3月期 82,999百万円 2023年3月期 73,907百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]4ページ記載の「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、欧米でのインフレ長期化や中国での景気減速、地政学的リスクの高まりなどにより、不安定な状態が継続しました。わが国経済は、社会経済活動正常化などにより緩やかに回復した一方、原材料価格の高騰による物価上昇などにより、先行き不透明な状況は継続しました。

このような環境の下、当社グループは2030年にありたい姿『Big VISION 2030』を長期ビジョンとして再定義し、その実現に向けて2021年4月から3年間の中期経営計画(2021～2023年度)を実行しました。

2024年3月期は、グラスファイバー事業において汎用品は低迷したものの、高付加価値品であるスペシャルガラスの販売は回復基調が継続しました。

この結果、連結売上高は93,253百万円(前年同期比6.5%の増収)、連結営業利益は8,387百万円(前年同期比71.9%の増益)、連結経常利益は9,752百万円(前年同期比60.7%の増益)、親会社株主に帰属する当期純利益は7,296百万円(前年同期比163.1%の増益)になりました。

各事業における状況及び取組みは以下の通りです。

グラスファイバー事業部門に属する原繊材事業、機能材事業、設備材事業の状況と具体的な取組みは、以下の通りです。

原繊材事業では、電子材料向けスペシャルガラス・ヤーンの販売が好調に推移したものの、強化プラスチック用途の複合材及び、電子材料向け汎用ヤーンの販売が低調であったことなどが利益の押し下げ要因となりました。この結果、当事業は売上高26,191百万円(前年同期比9.3%の増収)、営業損失は458百万円(前連結会計年度は営業損失1,680百万円)となりました。

機能材事業では、AIサーバー向けの旺盛な需要の継続により、低誘電特性を持つスペシャルガラスの販売が伸長するとともに、半導体パッケージ基板向けのスペシャルガラスの販売が回復傾向となり、収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高27,528百万円(前年同期比20.4%の増収)、営業利益は5,550百万円(前年同期比59.6%の増益)となりました。

設備材事業では、断熱材および設備・建設資材向けガラスクロスの堅調な販売が収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高21,637百万円(前年同期比5.6%の増収)、営業利益は1,188百万円(前年同期比964.5%の増益)となりました。

ライフサイエンス事業では、メディカル事業の販売は順調に推移しました。一方、飲料事業を営むニッソービバレッジ株式会社が2023年1月に当社連結対象子会社から除外された影響を受けました。この結果、当事業は売上高14,436百万円(前年同期比13.9%の減収)、営業利益は2,955百万円(前年同期比5.9%の増益)となりました。

繊維事業では、芯地の販売は堅調に推移したものの、コストアップなどの影響を受けました。この結果、売上高2,386百万円(前年同期比2.5%の増収)、営業利益は24百万円(前年同期比74.5%の減益)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は212,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,527百万円増加しました。主な要因は、売掛金の増加などです。

負債は88,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,768百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加などです。

純資産は123,707百万円となり、自己資本比率は55.7%と、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少しました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益9,083百万円、減価償却費7,166百万円などにより5,057百万円の資金が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出6,949百万円などにより7,896百万円の資金が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入14,000百万円、長期借入金の返済による支出6,531百万円などにより4,301百万円の資金が増加しました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は23,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,057百万円増加しました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	54.2	53.7	56.5	55.9	55.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	107.2	84.6	58.4	39.5	102.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	3.8	5.7	6.6	6.0	10.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	41.0	31.8	30.7	30.8	12.4

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の当社を取り巻く環境は、長引く米国の金融引き締めや中国経済の低迷、地政学的リスクなどに加えて、人件費や物流費、原料及びエネルギー価格高騰による物価上昇など、先行きが不透明な状況にあります。

このような環境の下、当社は2030年にありたい姿『Big VISION 2030』の実現に向けた、新中期経営計画(2024～2027年度)をスタートさせました。新中期経営計画の着実な達成を通じ、企業価値の向上に努めてまいります。

2025年3月期は、電子材料向けスペシャルガラスにおいて、データセンターのサーバーやネットワーク機器用途の旺盛な需要や、半導体パッケージ基板向けの需要の回復が見込まれることなどにより、増収増益となる見通しです。

このような状況の下、次期の業績予想を以下の通りといたしました。

	2024年3月期	2025年3月期(予想)
売上高(百万円)	93,253	104,000
営業利益(百万円)	8,387	12,500
売上高営業利益率(%)	9.0	12.0
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,296	8,500
EBITDA(百万円)※1	15,553	20,600
売上高EBITDA比率(%)	16.7	19.8
設備投資(百万円)	7,762	17,800
減価償却費(百万円)	7,166	8,100
研究開発費(百万円)	2,825	3,600
売上高研究開発比率(%)	3.0	3.5
為替レート[円/米ドル]	144.0	141.0

※1 EBITDA：営業利益＋減価償却費

各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は財務健全性や株主還元等のバランスを勘案した資本構成とすることを資本政策の基本方針とし、株主に対する配当政策を経営の最重要事項の1つとして位置づけております。

当期業績は前述の通りであります。この基本方針に基づき、当期の期末配当金につきましては1株当たりの普通配当を32円50銭とし、2024年6月20日開催予定の定時株主総会に付議します。

また、新中期経営計画においては1株当たりの年間配当金55円を下限とし、定常収益に対する連結配当性向30%を基本方針とします。

次期の配当につきましては、上記基本方針の下、中間配当金として1株につき27円50銭を予定し、期末配当金は現時点では未定とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準で連結財務諸表を作成しており、当面同基準での作成を継続する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、今後の国内外の諸情勢を考慮し、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,594	23,664
受取手形	6,145	7,399
売掛金	15,809	25,130
商品及び製品	16,631	15,425
仕掛品	5,611	7,476
原材料及び貯蔵品	24,186	25,849
その他	4,239	4,020
貸倒引当金	△2	△5
流動資産合計	94,215	108,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,620	19,944
機械装置及び運搬具（純額）	25,756	30,351
土地	15,490	15,789
リース資産（純額）	568	466
建設仮勘定	5,553	2,776
その他（純額）	1,620	1,511
有形固定資産合計	68,609	70,839
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	14,094	23,049
退職給付に係る資産	1,251	3,796
繰延税金資産	2,904	1,066
その他	1,397	1,353
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	19,627	29,244
固定資産合計	91,369	103,151
資産合計	185,585	212,112



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,493	8,604
短期借入金	12,770	12,626
1年内償還予定の社債	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	5,751	12,576
リース債務	317	262
未払法人税等	622	1,805
賞与引当金	995	1,083
その他	8,089	9,723
流動負債合計	36,039	51,683
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	15,995	16,638
リース債務	1,227	1,035
修繕引当金	5,419	5,753
役員株式給付引当金	21	59
退職給付に係る負債	5,724	5,354
その他	2,208	2,880
固定負債合計	40,596	36,721
負債合計	76,636	88,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,373	19,373
利益剰余金	62,676	67,925
自己株式	△3,013	△3,018
株主資本合計	98,736	103,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,750	8,041
為替換算調整勘定	3,714	5,333
退職給付に係る調整累計額	△407	836
その他の包括利益累計額合計	5,057	14,211
非支配株主持分	5,155	5,516
純資産合計	108,948	123,707
負債純資産合計	185,585	212,112

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	87,529	93,253
売上原価	60,323	62,638
売上総利益	27,206	30,614
販売費及び一般管理費	22,326	22,226
営業利益	4,880	8,387
営業外収益		
受取利息	10	31
受取配当金	484	495
受取賃貸料	72	449
受取補償金	458	162
為替差益	797	932
その他	406	419
営業外収益合計	2,230	2,491
営業外費用		
支払利息	248	412
休止賃貸不動産関連費用	269	267
遊休設備費	222	324
その他	302	121
営業外費用合計	1,043	1,126
経常利益	6,067	9,752
特別利益		
固定資産売却益	5,350	0
投資有価証券売却益	813	—
子会社清算益	—	40
受取保険金	110	169
その他	135	—
特別利益合計	6,410	210
特別損失		
固定資産処分損	184	268
減損損失	6,592	585
災害による損失	267	21
その他	772	4
特別損失合計	7,816	879
税金等調整前当期純利益	4,661	9,083
法人税、住民税及び事業税	1,618	2,575
法人税等調整額	119	△800
法人税等合計	1,737	1,775
当期純利益	2,923	7,308
非支配株主に帰属する当期純利益	150	12
親会社株主に帰属する当期純利益	2,772	7,296

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,923	7,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	6,291
為替換算調整勘定	1,903	1,963
退職給付に係る調整額	653	1,247
その他の包括利益合計	2,553	9,502
包括利益	5,476	16,810
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,137	16,449
非支配株主に係る包括利益	339	360

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,699	19,373	66,619	△2,563	103,129
当期変動額					
剰余金の配当			△1,722		△1,722
親会社株主に帰属する当期純利益			2,772		2,772
自己株式の取得				△5,443	△5,443
自己株式の消却			△4,994	4,994	—
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△3,943	△449	△4,393
当期末残高	19,699	19,373	62,676	△3,013	98,736

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,754	1,995	△1,056	2,692	4,815	110,638
当期変動額						
剰余金の配当						△1,722
親会社株主に帰属する当期純利益						2,772
自己株式の取得						△5,443
自己株式の消却						—
連結範囲の変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	1,719	648	2,364	339	2,703
当期変動額合計	△3	1,719	648	2,364	339	△1,689
当期末残高	1,750	3,714	△407	5,057	5,155	108,948

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,699	19,373	62,676	△3,013	98,736
当期変動額					
剰余金の配当			△2,012		△2,012
親会社株主に帰属する当期純利益			7,296		7,296
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の消却					—
連結範囲の変動			△35		△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	5,248	△4	5,243
当期末残高	19,699	19,373	67,925	△3,018	103,979

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,750	3,714	△407	5,057	5,155	108,948
当期変動額						
剰余金の配当						△2,012
親会社株主に帰属する当期純利益						7,296
自己株式の取得						△4
自己株式の消却						—
連結範囲の変動						△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,291	1,618	1,244	9,153	360	9,514
当期変動額合計	6,291	1,618	1,244	9,153	360	14,758
当期末残高	8,041	5,333	836	14,211	5,516	123,707

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,661	9,083
減価償却費	8,208	7,166
減損損失	6,592	585
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△214	1,422
修繕引当金の増減額 (△は減少)	1,047	334
受取利息及び受取配当金	△495	△526
支払利息	248	412
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△746	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△5,166	267
受取保険金	△110	△169
売上債権の増減額 (△は増加)	3,412	△10,420
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,660	△1,912
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,251	1,035
その他	△1,498	△1,421
小計	8,529	5,856
利息及び配当金の受取額	495	526
利息の支払額	△248	△407
保険金の受取額	110	169
事業構造改善費用の支払額	△129	—
法人税等の支払額	△1,114	△1,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,643	5,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△7,173	△6,949
固定資産の売却による収入	5,466	15
解体費の支払による支出	—	△950
解体費負担金受入による収入	—	950
投資有価証券の売却による収入	2,516	—
為替予約の決済による支出	—	△1,061
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,408	—
その他	△239	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,979	△7,896
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,880	△781
長期借入れによる収入	7,255	14,000
長期借入金の返済による支出	△5,501	△6,531
自己株式の取得による支出	△5,001	△4
配当金の支払額	△1,722	△2,012
その他	△399	△368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,249	4,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	634	594
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,006	2,057
現金及び現金同等物の期首残高	18,453	21,460
現金及び現金同等物の期末残高	21,460	23,517

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、原繊材事業、機能材事業、設備材事業、ライフサイエンス事業及び繊維事業の5つの事業を基本にして事業を営んでおり、各事業で国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「原繊材事業」、「機能材事業」、「設備材事業」、「ライフサイエンス事業」及び「繊維事業」の5つを報告セグメントとしております。

「原繊材事業」は、グラスファイバー原繊製品（ヤーン、ロービング、チョップドストランド等）の製造及び販売を行っております。「機能材事業」は、グラスファイバー機能製品（ガラスクロス等）の製造及び販売を行っております。「設備材事業」は、産業資材用途グラスファイバー製品の製造及び販売、グラスウール製品（断熱材用途）の製造及び販売を行っております。「ライフサイエンス事業」は、体外診断用医薬品及びスペシャリティケミカルス製品の製造及び販売を行っております。「繊維事業」は、繊維製品（芯地製品、機能資材、生活資材、ふきん等）の製造及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	繊維 事業	計				
売上高										
顧客との契約から 生じる収益	23,968	22,866	20,487	16,668	2,327	86,318	1,121	87,439	—	87,439
その他の収益	—	—	—	90	—	90	—	90	—	90
外部顧客への 売上高	23,968	22,866	20,487	16,759	2,327	86,408	1,121	87,529	—	87,529
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,255	760	498	440	1	10,956	1,299	12,256	△12,256	—
計	33,223	23,627	20,985	17,200	2,329	97,365	2,421	99,786	△12,256	87,529
セグメント利益 又は損失 (△)	△1,680	3,478	111	2,791	95	4,797	130	4,928	△48	4,880
セグメント資産	81,918	24,241	18,428	18,626	3,126	146,342	2,302	148,645	36,939	185,585
その他の項目										
減価償却費	4,935	1,489	848	592	8	7,875	39	7,915	293	8,208
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	2,746	682	539	1,862	17	5,848	15	5,864	55	5,919

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械設備関連事業及びサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△48百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

(2) セグメント資産の調整額36,939百万円は、各報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び管理部門に係る全社資産等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額55百万円は、全社の設備投資等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	繊維 事業	計				
売上高										
顧客との契約から 生じる収益	26,191	27,528	21,637	14,343	2,386	92,088	1,072	93,160	—	93,160
その他の収益	—	—	—	92	—	92	—	92	—	92
外部顧客への 売上高	26,191	27,528	21,637	14,436	2,386	92,180	1,072	93,253	—	93,253
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,959	694	361	408	1	13,425	2,560	15,986	△15,986	—
計	38,151	28,222	21,999	14,845	2,387	105,606	3,633	109,239	△15,986	93,253
セグメント利益 又は損失 (△)	△458	5,550	1,188	2,955	24	9,260	182	9,443	△1,055	8,387
セグメント資産	86,945	31,138	21,419	21,068	3,133	163,706	2,098	165,804	46,307	212,112
その他の項目										
減価償却費	4,059	1,304	832	596	21	6,815	38	6,854	312	7,166
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	3,820	1,416	1,306	803	101	7,447	10	7,458	304	7,762

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械設備関連事業及びサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,055百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。
- (2) セグメント資産の調整額46,307百万円は、各報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び管理部門に係る全社資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額304百万円は、全社の設備投資等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (関連情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	欧州	その他	合計
54,145	21,413	6,035	5,700	235	87,529

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	欧州	その他	合計
57,514	24,599	5,397	5,357	385	93,253

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,850円72銭	3,246円26銭
1株当たり当期純利益	73円94銭	200円39銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株主資本において自己株式として計上されている、株式給付信託に係る信託口が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度93千株、当連結会計年度174千株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度174千株、当連結会計年度174千株であります。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,772	7,296
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,772	7,296
普通株式の期中平均株式数 (千株)	37,502	36,409

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。